

平成 29 年 5 月

環境人づくり企業大賞 2016 表彰式の様子

自然環境課

平成 29 年 5 月 22 日（月）霞が関にあります、中央合同庁舎第 5 号館 22 階 環境省第 1 会議室にて、表彰式が行われました。



環境省 中央合同庁舎



環境省第 1 会議室

平成 28 年 9 月 15 日～11 月 17 日にかけて募集を行い、大企業区分 38 件、中小企業区分 19 件、あわせて 57 件の応募がありました。弊社は、中小企業区分枠で栄えある環境大臣賞を受賞しました。

表彰式では、まず主催者（環境省）からのあいさつからスタートしました。登壇されたのは、環境大臣の山本公一氏です。



あいさつ（環境大臣 山本公一氏）

その後、表彰状授与式となり、環境大臣の山本氏から表彰状が授与されました。

また、環境副大臣の伊藤忠彦氏より、トロフィーも頂戴しました。



表彰状授与

（左：山本環境大臣、右：加藤社長）

トロフィー授与

（左：伊藤環境副大臣、右：加藤社長）



表彰状



トロフィー

そして、審査委員長の奥真美氏（首都大学教授）による全体講評、委員の安井至氏（東京大学名誉教授、環境人材育成コンソーシアム代表幹事）による閉会挨拶がありました。

内容については、下記をご参照下さい↓↓

- 今回、受賞した企業について、共通して言えることは・・・、
 - ・環境人材を育成するための“仕掛け”があった（→該当例；ピオトープ管理士）
 - ・社員参加型で活動を推進している（→該当例；エコミーティング等）
 - ・地域との連携（→該当例；自然観察会、尾張西部生態系ネットワーク）
 - ・トップ（経営者）のリーダーシップが感じられる
 - ・持続可能な開発目標（SDGs）、パリ協定、ESG投資の観点から、教育の体系化（本業との繋がり）が優れている。
- これからの課題として、表彰された企業は先進的な考え方ができると思われるが、その他の企業が、環境をどう捉えるか？またどのように組織の中で体系化を図っていくか？その参考として、これまでの受賞企業を手本にして頂きたい。
- 受賞された企業は、これで終わりではなく継続的に活動を実施し、更なる環境人材の育成に尽力して頂きたい。



全体講評（奥 真美 氏）



閉会挨拶（安井 至 氏）

3. 受賞企業一覧

【大企業区分】

環境大臣賞		
M S & A D インシュアランス グループ ホールディングス株式会社	東京都	環境 50 およびグループ独自の環境・社会貢献マネジメントシステム「みんなの地球プロジェクト」を活用した取り組み

優 秀 賞		
グッドホールディングス株式会社	兵庫県	「みんなが良いと感じる会社を創りましょう」を社員と共に目指す
ダイキン工業株式会社 滋賀製作所	滋賀県	ひとりの100歩より100人の一歩 従業員の行動の積み重ねで大きな環境成果へ
株式会社帝国ホテル	東京都	快適性・安全性・利便性の追求と環境配慮に挑戦する人材の育成
株式会社八十二銀行	長野県	全従業員及びステークホルダーに対する環境教育の実施
株式会社リコー	東京都	環境経営のレベルアップを目指した、意識、知識、実践を通じたグローバルな環境人材づくり

奨 励 賞		
株式会社いなげや	東京都	循環型社会の推進と環境保全教育活動
K D D I株式会社	東京都	10年以上に渡る全社員へのeラーニングと全国での環境保全活動の実施
株式会社建設技術研究所	東京都	江戸東京・川のなぜなぜ舟めぐり
株式会社ジャパンセミコンダクター	岩手県	環境CSR、コミュニケーション、生物多様性による環境人材育成
住友林業株式会社	東京都	自己啓発を高める環境教育
静岡信用金庫	静岡県	「GREEN表彰制度」を通じた環境活動の継続的な取り組み
積水化学工業株式会社 滋賀栗東工場	滋賀県	事業を通じて社会に貢献する環境活動推進力の高い人材集団の育成
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	東京都	環境人材育成からステークホルダーを巻き込んだボランティア活動への取り組み
SOMPOホールディングス株式会社	東京都	CSRマネジメントシステムの取り組み
大成建設株式会社	東京都	大成建設グループの環境人材育成活動
ダイハツ工業株式会社 滋賀(竜王)工場	滋賀県	ダイハツ工業滋賀(竜王)工場の「環境道場」による草の根環境教育

株式会社ダスキン	大阪府	ISO14001 環境推進活動を通じた人づくり
中部電力株式会社	愛知県	ちゅうでんフォレスター・ちゅうでんインタープリターの育成
株式会社トヨタレンタリース熊本	熊本県	社内教育システムに環境研修を加え、スタッフの人材育成をはかる
日本生命保険相互会社	東京都	全国約7万名の役員・職員が参画する環境取組
はごろもフーズ株式会社	静岡県	eco検定で 環境学習推進 エコアクション21 ナビゲーター任命
パナホーム株式会社	大阪府	環境教育 e ラーニングの継続実施と『エコメン・エコジョ』認定制度
フォスター電機株式会社	東京都	グローバルで活躍する環境人財の育成プログラム
独立行政法人水資源機構	埼玉県	W-EMS（ウィームス）による環境保全の取組の推進
三井住友建設株式会社	東京都	環境ビジョンの目標達成に向けた社員の環境教育

【中小企業区分】

環境大臣賞		
株式会社加藤建設	愛知県	建設業が創る“環境人材”～自然を守るために できること～

優 秀 賞		
公益財団法人岡山県環境保全事業団	岡山県	職員の地球環境や社会貢献を応援！エコポイント制度“かんぼん”
有限会社共栄資源管理センター小郡	福岡県	みんなの生活を快適にします
山陽製紙株式会社	大阪府	環境に配慮した循環型社会に貢献する製紙会社
株式会社バスクリン	東京都	全社員合格！eco 検定合格を基軸とした環境教育とその波及効果
株式会社大和生物研究所 夢科工場	長野県	大和生物研究所 Q P 制度：「クマザサ」を核としたサステナブルな環境維持のための社員育成システムの構築

奨 励 賞		
始良衛生有限会社	鹿児島県	常にお客様へ感謝の気持ちを忘れずこれからの環境を考えます。
株式会社カンサイ	広島県	環境力道場の開催
株式会社この	福島県	社員は宝！人間としての成長を育む人財育成
株式会社GE	大阪府	ブランド価値の創造
新日本カレンダー株式会社	大阪府	全社一丸となつての環境活動
株式会社セリタ建設	佐賀県	森林は、私達みんなの財産！
大東スチール株式会社	静岡県	「一人一役」私の推進するエコ活動

環境
大臣賞

中小企業区分

株式会社加藤建設

※事業者の情報は 2016 年 11 月時点

所在地	愛知県海部郡蟹江町蟹江新田下市場 19-1
業種	建設業
社員数	(単体)293 名
ウェブサイト	http://www.kato-kensetu.co.jp/

建設業が創る“環境人材” ～自然を守るためにできること～

目的

弊社は、愛知県海部郡に本社を置き、道路工事や河川整備など、地域に密着した公共工事を中心に事業を営んでおります。地域の利便性や災害の少ない街づくりを目指し、多岐に渡るインフラ整備に携わって参りましたが、社会的な風潮もあり、“建設業は自然破壊の元凶”と揶揄される事もありました。したがって、本活動では、これからの建設業が目指す“自然との共生”に向けた環境活動を推進する為、社員教育を実践する事としました。

概要

人間は自然からの恩恵を得ながら生活しており、“自然との共生”という概念は、現在の豊かな自然を継承し、より快適な生活を築き上げて行くためにも、絶対に不可欠なものです。

また、弊社独自の自然環境配慮活動は、社員のみならず愛知県下の建設業をはじめ、全国の建設会社で展開して行ける様、これからも先導していかなければならないと強く感じております。

したがって、人を優先としたインフラ整備ではなく、人と自然が共生できるインフラ整備を進めていくために、弊社は三つの視点から人材育成を行なっています。

- ①自然を守るための知識習得
- ②自然を守るための実践教育
- ③自然を守る気持ちを育む取組み

これらを進めることで、環境人材を育むことだけでなく、建設業界のイメージアップならびに自然に優しいインフラ整備のあり方に繋がればと思います。

特徴・アピールポイント

弊社は建設業でも優れた土木技術者が多い反面、自然環境や生態学とは無縁で、土木や特殊技術に特化した社員ばかりでした。したがって、①基礎知識習得の課題解決に向け、「ビオトープ管理士」の資格取得に重点を置きました。

その結果、現在では、社員の意識も向上し5年という歳月を経て、資格取得者は全社員272名中112名が保有(昨年度実績)しており、今後も積極的な取得に尽力して行きたいと考えております。

また、②実践教育では、エコミーティングを主軸に公益財団法人日本生態系協会が指定管理する北本自然観察公園でのフィールド研修や、同協会がマネジメントしている自然再生事業地での勉強会などを積極的に実施しております。最近では、ビオトープ管理士資格取得者100名の達成を記念し、岐阜県各務原市にあります「自然環境楽園」にて、河川内の生きもの探し体験や、地域の自然環境の魅力を伝えるための自然観察会も実施し、更なる意識向上に努めました。

フィールド研修(北本自然観察公園)



自然観察会(蟹江川)



関連・補足情報

- カトケンの“わくわく”プロジェクト

<http://www.kato-kensetu.co.jp/wakuwaku/>

- エコミーティング

<http://www.kato-kensetu.co.jp/company/environment/site/>

- 自然を学ぶ社内研修

<http://www.kato-kensetu.co.jp/company/activity/naturetraning.html>

- 日本生態系協会“自然研修”

<http://www.kato-kensetu.co.jp/company/activity/seitaikei.html>

● 自然観察教室

http://www.kato-kensetu.co.jp/company/activity/kansatsu_kyositsu.html

審査委員からの講評

土木業からの脱皮を目指し、「自然と共生した建設業」という世界の潮流を踏まえた会社の方針を立て、ビオトープ管理士取得制度を設けて全社員に取得させる体制をとっている点は、本業に根差した取り組みであり特に先進的である。272人の社員のうち既に112人がビオトープ管理士の資格を取得しており、2016年度は、80人以上が取得を目指すという。ビオトープ管理士を取得した社員へのステップアップ研修や、現場での実地研修も充実しており高く評価したい。

また、社内横断型エコミーティングでは、社員が現場を視察しながらアイデアを出したり、自然環境配慮事例を広報するエコ通信を発行したりするなど、社内の環境意識の醸成に取り組んでいる点も、高い意欲を感じる。

さらに、親子向け自然観察会の実施や「尾張西部生態系ネットワーク協議会」の事務局兼幹事も引き受けるなど、地域と連携して信頼関係を築いている点も評価できる。

分かりやすい制度で会社の進むべき方向性を示した人材育成の取り組みは、他の中小企業にも参考になるだろう。